

学童・生徒の生活習慣病予防健診コホートの追跡調査準備としての既存データ解析研究

平成 26 年 1 月 15 日

和歌山県日高医師会と、和歌山県立医科大学医学部公衆衛生学講座では、以下の疫学研究を実施しています。ここにご案内するのは、過去の地域での母子保健事業の情報等をふり返って解析する「後ろ向き観察研究」という疫学研究で、本学倫理委員会の承認を得て行うものです。すでに存在する情報を利用させていただく研究ですので、対象となられた皆様に、あらためて何かをお尋ねするということではなく、直接にご連絡をさせていただくことはありません。また、対象となられた皆様の情報を個別に検討するのではなく、地域の集団として健康に関わる検討を行います。この研究の対象に該当すると思われた方で、ご自身の情報が利用されることを望まない場合や、研究についてご質問がある場合は、下記の問い合わせ先にご連絡ください。

1. 研究課題名

学童・生徒の生活習慣病予防健診コホートの追跡調査準備としての既存データ解析研究

2. 研究責任者

北野尚美(和歌山県立医科大学 地域・国際貢献推進本部地域医療支援センター・講師, 医学部公衆衛生学講座 併任)

3. 研究の意義

世界的に、子どもの肥満が健康の問題となり、近年では子どもにおいてメタボリックシンドロームが注目されています。生活習慣病の予防や健康の自己管理能力の獲得において、小児期の生活環境や学校保健が重要な可能性があります。和歌山県の日高郡内 11 市町村（当時）では、1992 年から 2005 年にかけて、各学校の校医が、地域の皆様と教育現場のご協力をいただいて、学校保健活動として学童・生徒の生活習慣病予防の健診に取り組みました。これら学校保健における疾病予防の実践の情報は、子どもの成長発達と疾病予防の観察疫学研究として学術的にも高く評価されています。

和歌山県で育った子どもの健康に関わる貴重な情報を保全すること、学童・生徒の生活習慣病予防の健診情報を最近の学術的知見を踏まえて詳細に解析することは、予防医学と公衆衛生の基盤研究として意義が高く、健康寿命の延伸に役立つ目的で研究を行います。

4. 研究の目的

研究全体の目標は、次世代の生活習慣病予防です。本研究は、和歌山県の地域で集められ既にある貴重なデータを詳細に解析することで、小児期からの生活習慣病予防に関連する要因を明らかにして、次世代の学校保健に役立てたいと考えて計画しました。

5. 研究の概要

(1) 対象となる方

今回の研究では、1992 年から 2005 年に当時の日高郡内 11 市町村の学校保健活動で実施された生活習慣病予防の健診のデータが対象となります。

(2) 利用させて頂く情報

小学 4 年健診は 1992 年から 2001 年に、中学 1 年健診は 1992 年から 2004 年に実施されました。高校生健診は 2003 年から 2005 年に同地域の当時の県立高等学校で実施されました。

(3) 方法

和歌山県の地域で集められてきた子どもの健康に関わる情報を二次的に分析する手法によって、子どもたちに新たに苦痛を加えることなく行える研究です。小児期の心身の健康や健康指標と、生育環境や生活習慣を含む環境要因の関連を詳細に解析します。

5. 個人情報の取扱い

研究で扱う電子データには、個人を特定できる個人情報は含まれていません。研究ではデータを集団として扱って分析するため、研究成果を学会や学術雑誌で発表する場合も、個人が特定されることはありません。

6. ご自身の情報が利用されることを望まない場合

研究は医学や保健学の進歩に欠かせない学術活動ですが、ご自身の健康診査に関する情報が利用されることを望まれない場合、これを拒否する権利があります。その場合は、下記までご連絡ください。研究対象から除外させていただきます。なお、研究協力を拒否された場合でも、保健医療福祉サービスを含めいかなる不利益も被ることは一切ありません。

7. 問い合わせ先

和歌山県立医科大学 地域・国際貢献推進本部 地域医療支援センター 担当医師 北野尚美
〒641-0012 和歌山市紀三井寺 811-1
TEL:073-441-0845 FAX:073-441-0846
E-mail:r-rccm@wakayama-med.ac.jp